

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をととして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、公立的で自立した病院経営を推進します。



重心病棟が開棟40周年を迎えました！

療育指導室 保育士 浅田 絹江

去る9月9日、重心病棟開棟40周年を祝って、記念行事が行われました。

第1部では音楽ライブ・文化祭、第2部では花火大会という、昼も夜も楽しめる内容でした。病院幹部の祝辞の後、鯖江の音楽バンド「一途」のライブが始まりました。文化祭では、「思い出のアルバム」「エコキャップアート」「似顔絵」「10年後の自分への手紙」「特別支援学校作品展示」「わかめっこ(病棟内新聞)展示」の各コーナーがあり、家族そろって笑顔で鑑賞する姿が見られました。

第2部は小雨になりましたが、病棟の窓から噴出花火を楽しみました。保護者の方々からは。子どもの笑顔が見られた、元気をもらった、楽しい一日で若返りができた等、感想をいただいています。

40年間の感謝を基に、皆の気持ちが一つになる良い機会となりました。節目の50周年に向けて、走り出す為のたくさんのエネルギーをもらえた一日でした。

あわら病院 — 今年の出来事 あれこれ —

事務部長 ^{ひつもと} 櫃本 富一

朝夕の冷え込みを日ごとに実感する季節となりました。ご近所の民家の庭先では柿の実もすっかり橙に色づいて、冬はもうすぐそこまで来ているようです。この一年を振り返ってみると、随分いろいろな出来事がありました。

年始からの降雪では職員の正月休み返上による協力のもと雪掻きを実施。春先から夏季には、芝桜の手植え、チューリップ、向日葵などの育成、朝顔のグリーンカーテンの設置などにボイラー室勤務のスタッフが取り組んだおかげで、あわら病院の敷地内には間断なく色とりどりの花々が咲き誇りました。5月にはセントピアあわらにおいて「健康応援フェア」を開催、10月には金津雲雀ヶ丘寮さんにお誘いいただき「ひ・バリバリふれあい祭り」に参加させていただきました。11月のあわら市民文化祭にも参加いたします。7月には「訪問看護ステーション アイリス」を開

設いたしました。地域の皆様方に少しでもお役に立つことが出来れば…と、願っております。9月には重心病棟開棟40周年イベントを実施いたしました。当院の重症心身障がい児病棟は昭和

50年4月に開棟以来、地域の皆様方やご家族さまの温かいご支援をいただきながら、今年で満40年目を迎えることができました。

11月20日には福井・坂井地区の医療・福祉関係者の皆様方との学習会『第8回 坂井・あわら高齢者医療研究

会』を開催いたしました。「もし、食べられなくなったら」～本人の意思に基づく非がん高齢者の終末期医療の実現にむけて～をテーマに、国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部長 三浦久幸 先生をお迎えしての特別講演や実践報告会など、たいへん有意義な時間を持つことができました。今後とも地域の医療・福祉関係者の皆様方とのより良き連携が継続することを願っております。

第8回 坂井・あわら高齢者医療研究会

「もし、食べられなくなったら」
～本人の意思に基づく
非がん高齢者の終末期医療の実現にむけて～

日時：平成27年11月20日（金）
18:20～20:30 17:45～開場

会場：JA花咲ふくい 芦原支店 芦原会館
あわら市国影15-40-1 TEL 0776-77-2450

プログラム
18:20 情報提供 株式会社 大塚製薬工場

18:50 各施設から実践報告
国立病院機構あわら病院・芦原メロン苑・金津雲雀ヶ丘寮

19:10 特別講演
「人生の最終段階における医療整備体制事業」
講師：国立長寿医療研究センター
在宅連携医療部長 三浦 久幸 先生

参加費 無料
お申し込みは11/12（日）までには
お問い合わせいたします。

主催：坂井・あわら高齢者医療研究会 国立病院機構あわら病院、（株）大塚製薬工場
事務局：国立長寿医療研究センター 地域連携課
TEL：0776-79-1211 FAX：0776-79-1261



嚥下内視鏡検査(VE:videoendoscopic swallowing examination)について

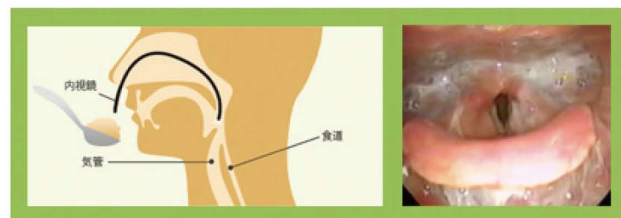
内科医長 桐場 千代

当院では、嚥下障害が疑われる入院患者さんには、言語聴覚士による簡易スクリーニング検査（反復唾液飲みテスト・改訂水飲みテスト・フードテスト）に加えて嚥下内視鏡検査を行っています。梨状陥凹や喉頭蓋谷への唾液貯留や、喉頭侵入、咳嗽反射の有無などから、経口摂取の可否の判断や、食形態や体位、嚥下方法の工夫により安全に食べられる方法の検討をしています。

より安全に食べられる方法の検討をしています。

内視鏡挿入によるバイアス、咽頭期はホワイトアウトで嚥下状況を直接観察できないこと、必ずしも誤嚥や、

誤嚥の量を確認できないことなど、嚥下内視鏡検査には限界もあります。しかし、検査食を選ばないこと、喉頭閉鎖や気道クリアランスの評価、咽頭・喉頭の感覚機能の評価などが簡単に短時間で、繰り返してできることなどの利点も多くあります。今後、『どうすれば食べられるのか』を検討していく検査として活用していきたいと思ひます。





地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

西岡医院



当院は、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅から300mほど北へ進んだところにあり、温泉施設セントピアあわらの間近に位置しております。

わたくしは、以前、中番の藤田医院で診療をしていましたが、昨年の1月、大学の先輩である前院長の西岡好秀の後を引き継ぎ、当院で診療を始めました。引き継ぎの際には、西岡先生の奥様をはじめ、叔父の藤田医院院長、先日他界された齊藤先生など、多くの方々にお力をいただき、今も皆様への感謝の念に堪えません。

診療科は以前と変わらず、内科・循環器内科・小児科を標榜しております。スタッフ一同、患者さんが少しでも長く穏やかな時間を過ごされますことを願いつつ、病気療養・健康維持のお手伝いを続けていく所存です。

患者さんが当院では対処できない状態になったり、当院ではできない検査が必要になった時には、福井市・坂井地区の各病院に対応を願っておりますが、特にあわら病院には、内視鏡・CT・MRIなどの検査から、患者さんの急変時の対応まで、幅広い場面で当院の依頼を受けていただき、大変心強く感じております。

これからも連携を維持し、日々の診療を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

院長 上谷 義尚

西岡医院

〒910-4104 福井県あわら市温泉5-3 TEL(0776)77-2138
診療科目:内科、循環器科、小児科

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
内科	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診日 日曜・祭日 木曜午後・土曜午後
循環器科								
小児科	14:00~18:00	○	○	○	×	○	×	

初期被ばく患者受入訓練に参加して

診療放射線技師 佐野 常昭

当院は、今年3月に福井県から「初期被ばく医療支援機関」に指定されました。これに伴い、被ばく患者受入対応等に関する知識と技術の習得を図るために越前町国民健康保険織田病院に、医師・看護師・事務・診療放射線技師のチームで参加しました。

事務職員が、被ばくした患者さんを受け入れる際の情報収集の方法や、汚染拡大防止の為にビニールシート等での養生の仕方、また、医師・看護師・診療放射線技師は、実際に汚染防護衣を着用し被ばく患者を受け入れる流れを体験しました。

訓練では、ケガで腕の骨が見えているリアルなマネキンを使って、以下の項目を実習しました。①技師が放射線測定器を使い放射能による汚染がないか確認。②汚染された部位があれば、医師と看護師が注射器を使って水等をかけながら放射能を流し落とし再度測定器で確認。③

除染が確認できたら退室して治療を開始。

今回の訓練に参加して、手順を間違えると返って汚染を広げてしまい汚染によって病院機能が麻痺する危険性があること、また完全防護で対応するために息がしづらい・視界が狭い・暑い・動きづらい等、日頃の医療行為と違う戸惑いがありました。

原子力災害時には今回の訓練を参考にし対応したいと思います。



外 来 担 当 医 表

(平成27年11月2日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津 谷	鈴 木	見 附	(交替制)	向 井
	小 児 科	大 坂 *	川 満 *	大 坂 *	大 坂 *	川 満 *
専 門	血液・リウマチ			津谷／浦崎 *	津 谷	
	痛 風				津 谷 *	
	生 活 習 慣 病			鈴木 (第1・3)	西 坊 (第2・4)	
	老 年			桐場 (第2・4・5)		桑 田
	神 経			林 (第1・3・5)		
	循 環 器	見 附	見 附			
	外 科	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤
	整 形 外 科	阿 部				
	眼 科				吉 岡 *	
	皮 膚 科		若 原			若 原
	地 域 ケ ア					桐 場
	禁 煙 外 来	見 附	見 附			

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

地域医療連携室だより

地域医療連携室 看護師長 堀野 千津子

当院が行っております『神経難病レスパイト』入院について、ご案内をさせていただきます。在宅における神経難病患者さんの療養生活は、医療的な処置や管理の必要性から、ご家族の介護負担の大きさを安易に推量する事は難しいと考えます。在宅での介護負担の軽減と安心して在宅療養生活をより長く継続して頂ける事を目的とし、これまで、筋委縮性側索硬化症(ALS)・多系統萎縮症・筋ジストロフィー・パーキンソン病などの多くの方にご利用を頂いてきました。ご家族の十分な介護を受けられている患者さんにとって、ご自宅以外の生活は望まれないかもしれませんが、初めての方には『体験レスパイト入院』も行っております。レスパイト入院ご希望の際には地域医療連携室にご相談ください。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北湯238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北湯花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)【事前予約が必要】

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)【事前予約が必要】

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、
またはホームページ(交通案内)をご覧ください。